

平成25年6月14日

行財政改革計画2013（案）に対する パブリック・コメントの結果について

- 1 意見等募集期間
平成25年4月17日（水）から平成25年5月16日（木）まで
- 2 提出されたご意見等
5件
- 3 ご意見等及び名古屋港管理組合の考え方
(1) 行革によって捻出された財源の用途について

【ご意見等】

行革によって新たに捻出された財源については、防災・減災対策の整備事業の前倒しに使用するなど、県民・市民生活に直結した政策遂行にその財源を充てていただきたい。

【名古屋港管理組合の考え方】

自主財源の確保及び経費の削減など行革により新たに捻出された財源については、我が国の経済と産業の成長を牽引する「国際産業ハブ港の実現に向けた取組」、老朽化が進む「港湾施設等の維持管理対策」とともに県民・市民生活に直結した高潮防波堤の老朽化対策及び防潮壁の液状化対策等による「防災機能の強化」の3つの政策遂行に優先的にその財源を充てていくことを考えております。

- (2) 組織機構の抜本的見直しについて

【ご意見等】

目標のなかに「組織機構の抜本的見直し」とあるが、ただ単に、組織体制の整理統合などの、いわゆる「小さな政府」を目指すのではなく、今後の名古屋港の持続的発展のために、利用者ニーズに的確かつ迅速に対応し、国際・国内競争力の更なる強化に繋がる戦略的な組織への再編を目指した「組織機構の抜本的見直し」を図っていただきたい。

【名古屋港管理組合の考え方】

ご指摘のとおり、今後の名古屋港の持続的発展のためには、国際・国内競争力の更なる強化に繋がる戦略的な組織への再編が必要であると考えております。本組合は、平成28年4月を目途として、「国際産業ハブ港」の実現に向けた港湾経営機能の強化や港湾施設の計画的かつ適切な維持管理の推進を図るため、抜本的に組織機構を見直す予定でございます。

(3) 迅速で効率的な維持管理の推進について

【ご意見等】

個別取組項目に「迅速で効率的な維持管理の推進」とあるが、港内の施設の老朽化が著しい箇所がたくさん見受けられる。近いうちに大地震が起きる可能性が高い地区だけに早急にリニューアルを実施するだけでなく、定期的な点検もしっかり行って欲しい。

【名古屋港管理組合の考え方】

港湾施設等の維持管理計画の策定を平成24年度に完了しました。

これまで、必要な点検を実施しておりましたが、今後は、点検・診断や維持補修の方法等について定めた維持管理計画に基づき、定期的に点検を実施してまいります。また、「港湾施設等アセットマネジメント推進計画」を策定し、財政的制約のもとで施設の健全度、重要度などを総合的に評価し、計画的かつ適切な維持管理を推進していく考えでございます。

(4) ネーミングライツの導入について

【ご意見等】

2-1-2 広告事業の制度導入と広告料収入の確保で、ネーミングライツを導入するとされていますが、これまで本来の施設名称で親しまれている名古屋港水族館などが企業名になってしまうのは違和感があります。また、数年で名称が変わって混乱したり、企業の業績悪化などでイメージが悪くなる心配もあります。

【名古屋港管理組合の考え方】

ご指摘のようなデメリットも想定されますので、ネーミングライツの対象施設の設定等、実施に際しては、これらの点に配慮しつつ歳入の確保に努めていきたいと考えております。

(5) 写真等の資料の閲覧について

【ご意見等】

船に興味があります。名古屋港ガーデンふ頭には大型客船や帆船が時々着岸しますが、名古屋港に寄港した昔の船の写真をぜひ閲覧したいと思っています。このような写真等、資料の保存、公開等の方法について検討し、また、随時ホームページにて公開することですが、現在でも写真等の資料について、名古屋港管理組合本庁舎で閲覧できるのでしょうか。

【名古屋港管理組合の考え方】

名古屋港管理組合本庁舎6階の資料室では、名古屋港の歴史的な写真資料を保存しており、事前に資料室にご連絡いただければそれらを閲覧していただけます。

写真資料の中には一部、自由に閲覧していただけるものもあります。

なお、客船入港予定については事前にホームページで公開しております。